

4 地域の人たちとのふれあい

対象学年：1年生(9～10月実施)

1. 題材：地域学習、地域理解

内容 (2) 適応と成長及び健康安全

ウ 社会の一員としての自覚と責任

オ 望ましい人間関係の確立

2. 題材について

(1) 生徒の実態

学区内に大きな団地があり、その中でいろいろな行事や催し物が行われている。

小学生の時にはその行事に参加することで楽しんできたが、中学生になり行事の運営を行ったり、催し物への出演をしたりする立場となってきている。団地以外の地域でも古くからの地域行事が盛んな地区であり、生徒たちは成長過程において地域との様々な関わりを持っている。

しかし、中学生となって部活動や習い事、塾などに時間を取られ、また気恥ずかしさなどから、地域行事への積極的な参加ができなくなってきている生徒も見受けられる。

(2) 題材設定の理由

地域の中で成長し、そのコミュニティの中で自分の存在に価値を見出し、また様々な年代の人々の中で自分の立ち位置を理解することによって地域・社会へ貢献することは、生徒にとって心身の健全な成長につながり、かつ豊かな人間関係づくりの根幹を育成することになる。

そこで本活動では、今まで自分が参加してきた地域行事や催し物についてあらためて着目し、自分自身の地域との関わりを再認識することによって、これからの適切な地域との関わりを考えるきっかけにしていきたいと考え、本題材を設定した。

3. 指導のねらい

今までに参加した地域行事についてあらためて考えたり、他の地域の行事について学んだりすることによって、地域への所属感を高め、積極的に地域行事に関わろうとする態度と意識を育てる。

4. 学級活動(2)の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的、自立的に日常の生活を送ろうとしている。	日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

5. 指導の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

春から秋にかけて、地域では祭礼などの様々な行事が行われた。そこで、自分と地域の関係を再確認するためにワークシート「地域にはどんな活動や交流があるのか確認しよう」に取り組む。

(2) 本時の指導と生徒の活動

本時の活動テーマ「地域の人々と積極的に関わろう」

本時のねらい

自分の住んでいる地域の人々の活動を再確認し、その活動の意義を理解すると共に、積極的に地域活動に参加する態度を養う。

本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 5分	1 本時の活動の流れについて説明を聞きテーマを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の流れを説明する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 本時の活動の流れ 1. 事前課題の発表 2. ワークシート1への書き込み 3. 意見交換 4. ワークシート2への書き込み </div>	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域の行事や催し物などについて理解している。 〔観察〕〔ワークシート〕
活動の展開 35分	2 事前学習 ワークシート1「地域にはどんな活動や交流があるのか確認しよう」の結果を、学級で何人かが発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・類似した活動を板書に整理し、確認する。 ・発表者が団地居住者だけに偏らないように配慮する。 	【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域だけでなく、他の地域で行われている活動に対してもしっかりと話を聞く。 〔観察〕

活動の展開 35分	<p>3. 地域でのいろいろな活動が整理できたら、ワークシート2「1. 自分が参加した活動のまとめ」を記入する。</p> <p>4. 記入した内容を学級で何人かが発表する。また、他の人の発表を聞きながら、興味を持ったことについてワークシート2「2. 友達の発表について」を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への参加を、感想だけではなく具体的な事実を含めて書くように指導する。 ・活動に参加したことがない生徒については、地域で行われている活動の中で知っているものについて自分の意見や感想を書くように指導する。 ・転入などで地域の行事についてよくわからない生徒へは、自分が以前住んでいた地域を思い出して書くように配慮する。 ・発表内容の中で興味を持ったことについて質問できる時間を作る。 ・地域内でのいろいろな活動や行事を再確認し、中学生としてそこに参加することの意義に気付けるように促す。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験を踏まえ、今までに経験してきたことについてしっかりとらえ、深く考えている。 <p>〔ワークシート〕</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の体験したことに関心を持ち、その意義を理解する。 <p>〔観察〕〔ワークシート〕</p>
活動のまとめ 10分	<p>5. ワークシート2「3. 地域の人とのふれあい方について考えよう」を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が地域の中の一員であること、そのコミュニティの中で果たす役割があり、またその参加するときには中学生としてのマナーや態度があることを考え、自らの考えを整理して記入できるように支援する。 	<p>*【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動や行事の意義をしっかりと捉え、今後の地域活動や行事への参加を考えようとしている。 <p>〔ワークシート〕</p>

6. 本単元の工夫例

(1) 事前の活動における工夫例

「地域」と一括りにいっても、実際には自校の学区全体で一つのコミュニティーを形成していることはまれであり、ほとんどの場合、学級内にいくつかの異なるコミュニティー出身者を含んでいる。そこで、事前活動のワークシートの書き込みの時には、「自分が参加したことがある活動をただ列記する」のではなく、「自分の参加した内容のある内容を違う地域の人に紹介する」という視点を持たせると、学級全体を一体化させる効果が期待できる。

(2)本時における工夫例

生徒自身が参加したことがある行事を発表するときに、同じ行事であってもその参加の仕方や参加したときの役割(係)分担などによって、全く違った側面を見せることがある。担任が生徒の発表をまとめていくとき、「行事による違い」だけではなく、その他の視点(関わり方による違い)を持つことで、生徒の考えを広め、興味を深めるきっかけになると考える。

(3)事後における工夫例

ワークシート「**地域の人とのふれあい方について考えよう**」のふり返しでは、地域の中での自分の役割を自覚し、地域行事への参加の意欲をあらわしたものと考えられる。本時の指導の後にも、地域からボランティアの募集などの通知が来ることがあるので、それらの紹介の時に本時のことを話題に出すなど、実践につなげられるような工夫が考えられる。

4 地域の人たちとのふれあい

対象学年：1・2・3年生

1. 題材：地域連携

内容 (2) 適応と成長及び健康安全

ウ 社会の一員としての自覚と責任

2. 題材について

(1) 生徒の実態

地域では夏祭りやスポーツ交流会、防災訓練など様々な取り組みが企画されているが、青少年世代の参加は多くない。また、少子高齢化が進行する中で、世代を超えた付き合いはほとんどなく、コミュニティとしての人と人のつながりが薄くなっている現状がある。一方、隣接地域の農業（従事者の高齢化による課題）の将来を心配したり、校地の直下を走る断層や、津波の被害が心配される学区の地理や自然に関心を持ったりするなど、決して郷土に無関心なわけではないのが実態であろう。

(2) 題材設定の理由

平成23年に発生した東日本大震災を受け、中学生に対する「地域の人たちとのふれあい」の重要性は、防災の視点からも地域・家庭・学校のそれぞれにおいて喫緊の課題として再認識された。これを受け、従来は地域や学校が独自に行ってきた防災訓練を連携して行うことや、高齢者とのふれあいの場を、施設訪問型から老人会など地域にお住まいの方々へ拡大して展開するなど、より地元に着した場へ変更し、修学旅行をも含む3年間を総合的に見通した学習として再編成することとなった。指導の多くは教科及び総合的な学習の時間を通して具体化されるが、今回は題材の中から学級活動の目標と内容に焦点を絞り、本時展開を工夫した。

3. 指導のねらい

地域の人たちとのふれあいを通して、自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的・自律的に日常生活を送ろうとする態度を身につけ、社会の一員としての自覚と責任について深く考え、判断し、自己を生かして実践する力を育てる。

4. 学級活動(2)の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。	日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

5. 指導の過程

(1)事前の指導と生徒の活動

7月実施の防災訓練では、近所の方と顔見知りになることを目標に、地域の方々（自分が住んでいる町内の役員さん）とともに集団下校訓練や防災用資材の確認、避難路・公園の清掃活動などを行った。夏まつりなど夏季休業期間中に地域の活動に参加した生徒たちも多く、春よりも地域をより身近に感じている。

今回の訓練では、テントやトイレを実際に組み立てたり、火を起こして食事を作ったりすることを周知し、地区毎に参加の態勢を確認し、目的とともに具体的な活動内容について指導した。

(2)本時の指導と生徒の活動

本時の活動テーマ

「参加した活動について交流し、地域の人とのふれあい方について考えよう」

本時のねらい

地域の方との充実したふれあい体験をもとに、子どもたちは見聞きしたことや体験したことを言葉にする意欲が十分高まっている。この機を逃さず、級友との言語活動を通して互いの経験を共有し、学びを深め、地域の方とのふれあいについて今まで持っていた見方や考え方が大きく広がっていることに気づかせる。

本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始10分	本時の目的と活動の流れの説明を聞く。 1 ワークシート「1.参加した地域の活動について発表しよう」に自らの体験を記入する。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 本時の活動の流れ 1.体験の振り返り 2.体験の交流 3.地域を考える交流 4.振り返り </div> ・地域の方とのふれあいを中心に書かせる。	【関心・意欲・態度】 ・「印象に残ったこと・学んだこと」を中心に表現している。 {ワークシート}

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の展開 30分	<p>2 体験の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1を使って、「印象に残ったこと」を発表し合う。友達の発表で興味をもったものもメモをとる。 ・どの活動を全体に発表するか話し合う。 <p>3 地域を考える交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループ毎に選んだ活動を発表し聞き合う。 ・防災を軸に、地域と自分の関わりについて感じたことをワークシートに書き足す。 ・ワークシートに書き足した内容を発表し、聞き合う活動を通して、考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との共同作業から学んだことを中心に話し合うようアドバイスする。 ・小グループから全体へと展開する中で、個人の考えが埋没することのないよう、自分の考えを記入させ、それをもとに発表するよう指導する。 ・災害時には協力が不可欠であり、中学生にも重要な役割があつて、地域から大きな期待を寄せられていることに気づかせる発言を引き出し、紹介する。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの体験を語り、また熱心に級友の言葉に耳を傾けている。〔観察〕 <p>*【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害など非常時への備えを考える活動を通して、日常生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法について考え、判断し、実践しようとしている。 <p>【観察・ワークシート】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>具体的な生徒の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の方と顔馴染みになること ・日頃から挨拶をすること ・祭りなどへ参加すること ・進んで関わること </div>
活動のまとめ 10分	<p>4 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いをもとに、自らの考えをワークシート「2. 地域の人とのふれあい方について考えよう」に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が実践できることを具体的に提案するようアドバイスする。 ・時間が足りない時は、通信にするなど交流の機会を工夫する。 	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と接する場面を想定し、どう行動するとよいか、知識を持ち、理解している。

6. 本題材の工夫例

生徒たちの実態で述べたように「地域の人たちとのふれあい」は決して多くはなく、学校と地域である程度計画的に体験の場を設定することが大切であるとの認識を持っている。長期に渡る指導計画の中で、本時は『わたくしたちの生活と進路 「4地域の人たちとのふれあい」』ワークシートの右ページ部分（参加した活動についてまとめ、交流を通して考える部分）のみを利用した。

* 実践例（生徒たちの感想から）

ワークシートからは生徒たちが学んだことが、実感を伴った言葉として読み取れた。

・ 皆が素早く行動できることが、一番の備えだと思います。理由は皆が素早く行動できなくては逃げる事ができないからです。自分の居る場所にもよりますが、「津波は来ないだろう」と思っても、避難することが大切だと思います。

・ 情報が出てから行動するのではなく、行動してから情報を確認するのが安全ではないかと思いました。実際には一人(のときに罹災する)かもしれないので、どう考えて、どう行動するのかを思いつくようにしたいな、と感じました。

・ やっぱりこの(試食した保存食の)ご飯は美味しくなかったです。でも、もしこういうご飯が出たとしたら、自分が率先して手伝うことができました。

・ (試食した保存食は)味が濃かったり薄かったり、柔らかかったりしてちょっと不味かったです。これを考えると災害被災地の人は大変だなと思いました。

・ 学校にいることを想定して、今から自分たちだけでもトイレやテントを組み立てたり、発電機を(使用することが)できるようにして、一人ひとりが意識することが必要だと思いました。

・ (今回の体験学習をふり返って)安全に地域の方々に助けることができる。覚えた知識をもとに、皆を手助けする。

・ (今回の体験から)「いざ」となった時に、自分の身だけでなく他の人の身も心配できるようになり、ずっとスムーズに行動できると思う。

・ (今回の体験学習を終えて)地域の人を助けられると思う。

7. 事前と本時に使用したワークシート

- ・ 【ワークシート1】「わたくしたちの生活と進路（平成25年度版）」4 - 2 上段
- ・ 【ワークシート2】「わたくしたちの生活と進路（平成25年度版）」4 - 2 下段

*実践例

まとめのワークシート「地域の人とのふれあい方について考えよう」から。

3. 地域の人とのふれあい方について考えよう

地域の活動に参加することで、今まで以上に地域の人々が身近になる機会があることを学んだことでしょう。これから参加したいことや地域の人と接するときにはどんなことに気をつけたらよいかなど、自分と地域の人々との関わりについて自分の考えをまとめてみましょう。

今年の夏休みに町内会のお祭りのボランティアをしました。
来年もボランティアをしたいです。普段は、あいさつをするくらいだけだと、ボランティアをすることで交流が深まりました。
これからは積極的に地域の行事に参加し、災害時などにみんなで協力できるような地域作りに力をかけたいです。

公園のそうじがあった時に、すごい落ち葉があって、地域の人と協力して掃除した。
私が困っている時にすぐに助けてくれて、地域の人たちは私たちのことを温かい目で見かってくれているのだと思いました。
だから私も、少しでも地域の人たちのために何かができたいと思います。

地域の人ともっと関わりを増やすためには、自分から積極的に話しかける必要があると思います。そのためには、お祭りに参加したり、あつめた地域の行事に参加していくようにしていきたいと思っています。
まずは、あいさつから始めて交流を深めるようにしていきます。

地域のお祭りで演奏していると、自分の家の近くに住んでいる方から「良かったよ!」と喜んでいただけてとても嬉しかったです。
またお祭りやボランティアなどで地域清掃に参加したことによって地域の人と話しやすくなったし、自然と笑顔で自分からあいさつできるようになりました。これからも地域の人々と協力して生活していきたいと思っています。

いままでは、ただお祭りに参加したり、楽しんだりしていただけでしたが、これから地域の一員として、ボランティアに参加したり、少しでも地域の方の役にたてたいと思います。

7. 事前と本時に利用したワークシート

- ・事前【ワークシート】「わたくしたちの生活と進路(平成25年度版)」
 - 4 地域の人たちとのふれあい ワード版を加工
- ・本時【ワークシート】「わたくしたちの生活と進路(平成25年度版)」
 - 4 地域の人たちとのふれあい ワード版を加工

ワークシート1

地域にはどんな活動や交流の場があるか確認しよう ~地域を知る~

1 年 組 番 氏名

私たちが毎日生活している地域には多くの人々が住み、よりよい町づくりをめざして多くの活動が行われています。例えば、祭り・踊りなどの伝統行事、清掃などの奉仕活動、高齢者との交流会、町内会での防災訓練など、様々なものがあげられます。

みなさんの地域にはどんな活動がありますか。

自分の住んでいる地域の活動をできる限りたくさんあげてみましょう。

(メモ：地域で行われている活動の例) 空き缶^{かん}集め

(A5サイズにして使用)

地域の人たちとのふれあい

1年組 番氏名

1. 自分が参加した活動のまとめ

自分が参加した活動や交流について感じたことや学んだことを、例を参考にして簡単に書きましょう。

活動名	参加して感じたこと・学んだこと
例) 川清掃活動	思った以上に空き缶などが多かった。雑誌のゴミなどもたくさん落ちていた。でも、きれいにしようという人がたくさんいた。参加してよかった。

2. 友達の発表について

友達の発表で興味をもった活動について下の表にメモしましょう。

活動名	印象に残ったこと・学んだこと

3. 地域の人とのふれあい方について考えよう

地域の活動に参加することで、今まで以上に地域の人々が身近になる機会があることを学んだことでしょう。これから参加したいことや地域の人と接するときにはどんなことに気をつけたらよいかなど、自分と地域の人々との関わりについて自分の考えをまとめてみましょう。